

よなご データブック 2026

よなごしりつとしょかん へん はっこう
米子市立図書館 / 編・発行



よなごって、どんなまちかな？
おいしいもの、すてきなもの、
いっしょにさがしてみよーで！

よなごしりつとしょかん
米子市立図書館キャラクター

よなぽん

・ねんれい 334 さい

・とくぎ にち ほん 1日に本を 300 冊よむことができる

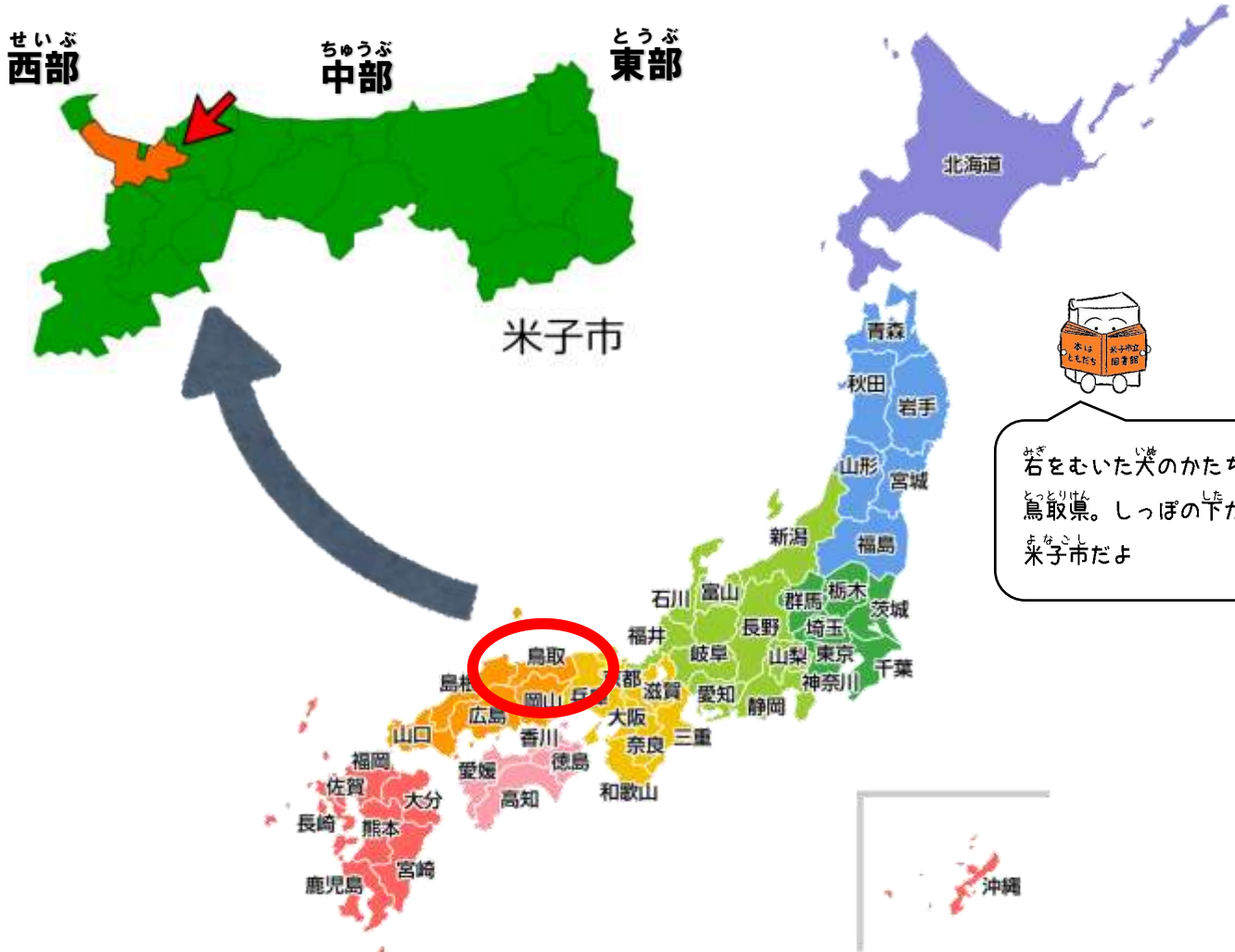
一度に300冊の本をはこぶことができる

・せいべつ なし

・かつては、えら〜い がくしゃ だったらしい…

よなごし 1.米子市って、どんなところ？

よなごし とっとりけん せいぶ し
米子市は、鳥取県の西部にある市です。



とっとりけんしまねけんさんいん
鳥取県と島根県をあわせて山陰とよびます。よなごしさんいん
米子市は、山陰のちょうどまんなかあたりにあります。



よなごし めんせき
●米子市の面積



とうきょう
東京ドーム2823こ
くらいのひろさだよ！

へいほう
132.42平方キロメートル

よなごし じんこう ひと かず
●米子市の人口(すんでいる人の数)

まん じん
14万2896人

だんせい まん じん じょせい まん じん
(男性：6万8185人 女性：7万4711人)

れいわ ねん がつ にちじてん
令和8年2月28日時点



へいせい ねん じん
平成27年には、149,313人すんでいたよ
いまは ふえているかな？ へってるかな？

よなごし
●米子市のマーク



こめ じ
「米」というかん字をもとにデザインされています。

よなごし はな
●米子市の花



はな ねん まいとし
ツツジという花です。2006年にきまりました。毎年5

がつ よなごし ない はな
月になると、米子市内にたくさん花がさきます。

●^{よなごし とり}米子市の鳥

^{よなごし とり}米子市の鳥は「コハクチョウ」です。



2006年^{ねん}にきまりました。米子水鳥公園^{よなごみずとりこうえん}には、毎年冬^{まいとしふゆ}になると、およそ1000わの^コハクチョウがやってきます。

●^{よなごし}米子市のキャラクター

^{よなごし}米子市のキャラクター「ヨネギーズ」



おとうさんの「ネギ太^た」、おかあさんの「ネギ子^こ」、こどもの「ネギポ」、ポシェットのどんぐりは「柏木^{かしわぎ}さん」といいます。かわいいですね！

●^{よなごし}米子市は、いつできたの？

いまの米子市は、2005年^{ねん}（平成17年^{へいせい}）3月31日^{ねん がつ にち}に

米子市^{よなごし}と淀江町^{よどえちょう}が合併^{がっぺい}（ひとつになること）して生まれました^う。

最初に^{さいしよ}米子市^{よなごし}ができたのは昭和2年^{しょうわ}。村^{むら}や町^{まち}が合併^{がっぺい}をくり

かえしながら、いまの米子市^{よなごし}になりました。

●^{よなごし}^{うた}米子市の歌

2015年^{ねん}（平成^{へいせい}27年^{ねん}）、米子市^{よなごし}と淀江町^{よどえちょう}が合併^{がっぺい}してから
10年^{ねん}になることを記念^{きねん}して、「米子市の歌^{よなごし}」ができました。

朝^{あさ}、昼^{ひる}、夕方^{ゆうがた}の米子市^{よなごし}のチャイムでもながられていますね。

みんなでうたっておぼえよう♪

「^{よなごし}^{うた}米子市の歌」 保岡直樹^{やすおかなおき}/作詞 さくし 松田恭雄^{まつたやすお}/作曲 さつきょく

(1番)

はるか^{だいせん} 大山^わ 湧く^{しみず} 清水

なが^{ゆた} 流れ豊かに^の すそ野^{ひら}を拓く

し^{めく} 四季^{かんしゃ}の恵みに^{感謝}して

いのち^{はくく} 育む^{ふる} さとよ

みんな^{うた}で歌おう^{こころ} 心はひとつ

だんだん^{よなごし} 米子市^{すす} 進む町^{まち}

(3番)

ごらん^{なかうみ} 中海^コ ハクチョウ

つばさ^{ひろ} 広げて^{みなぎる} ちから

にじ^{おおぞら} をかけたい^{大空} に

ゆめ^は が羽ばたく^{にほんかい} 日本海

せかい^{むす} を結んで^{みらい} 未来を照らす

ぐんぐん^{よなごし} 米子市^の 伸びるまち

(2番)

かた^あ 肩をよせ合い^{はな} 花も咲く^さ

かおる^ゆ 湯けむり^{ふれ} あう^{えが} 笑顔

こだい^{いき} 古代ロマンが^息 づいて

ひか^{れきし} 光る歴史に^{はずむ} 風

かな^{ひと} 奏でる人の和^{いろど} 彩る文化^{ぶんか}

いきいき^{よなごし} 米子市^み 満ちるまち



●^{よなご}米子^{ちめい}の地名^{ゆらい}の由来は？

なぜ「^{よなご}米子」っていうのかな？いろいろな^い言い^{つた}伝えがあり
ますよ。

・^{か も じん じゃ}賀茂神社のとなりにひっこしてきた^{ちやうじやふうふ}長者夫婦が、^{か も じん じゃ}賀茂神社の^{い ど み す}井戸水で^{きよ}からだを清め、^{こ ども}こどもがで
きますようにといのったら、^{はちじゅうはち}88さいのときに^{こ ども}こどもをさずかりました。^{こ め}八十八は米という字に
ているから、^{こ め こ}米の子とかいて、このあたりの^{と ち}土地を^{よなご}米子とよぶようになったそうです。



・このあたりは^{いね}稲がよく^{みの}実り、「^{よなおう さと}米生の里」とよばれていました。いつしかこれが「^{よなおうのこう}米生郷」とよ
ばれるようになり、「^{よなご}米子」になったそうです。



・「^{よな}よな」は^{すな}砂という意味。「^{い み}なご」は^{たいら}平という意味。あわせて「^{よなご}米子」になったそうです。

^{よなご}米子という地名は、^{ちめい}よなご、^よよねこなど、^{よ かた}読み方はちがうけど^{とっとりけん}鳥取県だけではなく、^{ほかの}ほかの^{ばしょ}場所
にもあります。^{すなち}砂地の^{とち}土地につけられていることが多いことが、^{おお}最近の^{さいきん}研究^{けんきゅう}でわかってきています。

参考文献

- ・米子市「人口と世帯数」<https://www.city.yonago.lg.jp/9498.htm>
- ・「よなごキッズページ」<https://www.city.yonago.lg.jp/16772.htm>
- ・『米子の民話散歩』（川上 廸彦 // 著 米子市 2002.8）
- ・『「米子」地名考』（岩佐 武彦 // 著 日本国際地図学会 1987）



ほかにもまだあ〜で！
しらべてみると、おもしろいか
も！

よなごし とくさんひん

2.米子市の特産品

しろ ・白ねぎ



しろ 白ねぎは、めいじじだい すみよしむら ひこなむら きゅうひんはんとう
栽培され、売られるようになりました。このあたりはえいよう
すなち なかうみ かいそう ひりょう しろ そだ ばしょ
砂地で、中海からとれる海藻を肥料にして、白ねぎが育ちやすい場所
でした。とっとりけん にしにほん ゆうめい さんち おお よなご
ら出荷されています。

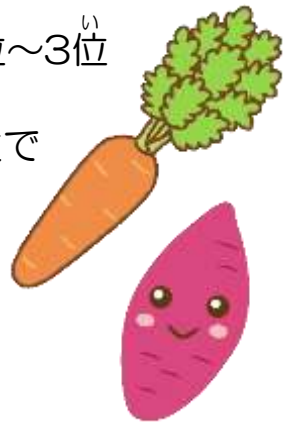
よなごし しろ しゅうかくりょう ねん とっとりけんない い ぜんこく い い
★米子市の白ねぎの収穫量（2020年）・・・鳥取県内1位、全国2位～3位



ほかににんじん、は 葉たばこもとっとりけんない しゅうかくりょう い
す（2020年データより）。そのほかお米、さつまいも、



なし、かきなどもつくられています。



ねぎ、にんじん、さつまいも（かんしょ）、は おも きゅうひんはんとう
ています。よなご のまんなかあたりは、お米がたくさんとれる稲作地帯です。よなご みなみ
はやま がわで、くだものが多くつくられています。

参考文献

- ・農林水産省「市町村の姿」<https://www.machimura.maff.go.jp/machi/contents/31/202/index.html>
- ・『鳥取県 白ねぎ沿革史』（鳥取県農業共同組合連合会 1997.09）
- ・『ウンパくんと歩く 中海散歩』（中海市長会 2012.03）
- ・「よなごキッズページ」<https://www.city.yonago.lg.jp/16772.htm>
- ・「ふるさと米子探検隊13号」（米子市立図書館 2009.03）

ゆみはまかすり ・弓浜緋

ゆみはまかすり よなごし きゅうひんはんとう さかいみなとし ふる
弓浜緋は、米子市の弓浜半島から境港市にかけてつくられている古くからある
おりもの はくしゅうめん そざい
織物です。伯州綿というじょうぶで、やさしいさわりごちの素材でつくられてい
ます。だいせん つる かめ えがら
ます。大山や鶴、亀など、めでたい絵柄がとくちょうです。

よどえがさ ・淀江傘

よどえがさ え どしだい くらよし しよくにん
淀江傘は、江戸時代に倉吉からきた職人によってつくられ
たのがはじまりといわれています。とてもじょうぶで、うつ
わがさ
くしい和傘です。できあがった傘をかき すなはま ほ ふうけい よどえ
を砂浜に干す風景は、淀江
ふうぶつし
の風物詩だったそうです。せんご かさ た
戦後、傘が足りなくなると、淀江
がさ いちねんかん まんぼん ようがさ
傘は一年間に50万本もつくられたそうです。やがてみんなが洋傘をもつようになり、
よどえがさ
淀江傘はだんだんつくられなくなりました。いまは「よどえがさでんしょう かい
淀江傘伝承の会」のみなさんが、
よどえがさ でんとう まも
淀江傘の伝統を守ってつくっています。



参考文献

- 『ウンパくんと歩く中海散歩』（中海市長会 2012.03）
- ・「よなごキッズページ」<https://www.city.yonago.lg.jp/16772.htm>
- ・「ふるさと米子探検隊13号」（米子市立図書館 2009.03）



よなごし

3.米子市のここがすごい！

しぜん 自然



よなご だいせん ・米子からみえる大山

だいせん ちゅうごくちほう たか やま
大山は中国地方でいちばん高い山で、1729メー

トルあります。よなごしな いろいろな ばしょ から、うつく だいせん み
美しい大山を見ることができます。

かくど
角度によって、さまざまな かたち か だいせん
どの姿もとても美しいです。見る

ばしょ
場所によっては、ふじさん
富士山のかたちになていることから、「伯耆富士」とよばれていま
す。

なかうみ ・中海

なかうみ とっとりけん しまねけん みずうみ にほん
中海は鳥取県と島根県にまたがる湖で、日本で5

ばんめ おお みずうみ きすいこ ばんめ おお
番目に大きな湖です。汽水湖としては2番目の大き



さだそうです。すごいですね！きすいこ かいすい たんすい
汽水湖とは、海水と淡水

がまざりあった みずうみ
湖のことです。うみ
海とつながっているなかうみには、うみ みずうみ りょうほう
海と湖の両方の

い
生きものがすんでいます。そのほうふ い
豊富な生きものをえさにとり
鳥もたくさんやってきます。

ねん へいせい ねん よなごみずとりこうえん みずとり
1995年（平成7年）には米子水鳥公園ができて、コハクチョウやマガンなど水鳥の

せいかつ ばしょ ねん へいせい ねん みずとり せいそくち
生活する場所をまもっています。2005年（平成17年）には、水鳥の生息地として、

こくさいてき じゅうよう しっちたい じょうやく とうろく
国際的に重要な湿地帯にみとめられ、ラムサール条約に登録されました。

かいけおんせん ・皆生温泉

およそ 100年まえに、漁師さんが海でみつけた温泉
です。塩をたっぷりふくんだ温泉は、体をぽかぽかあ
たためて、ひらの病気や神経痛などにも効果があるとさ
れています。夏になると海水浴場ができて、多くの人
でにぎわいます。海水浴場と温泉がいっしょに楽しめ
る場所は、日本ではとてもめずらしいそうですよ！



みず ・おいしい水

大山が近い米子市の淀江には、「天の真名井」
「本宮の泉」とよばれる、きれいな水がわき
でる場所があります。天の真名井には水車が
あり、ニジマスがおよいでいます。とてもうつ
くしい風景です。本宮の泉は1日に3000
0トンもの水がわきでるそうです。夏はホタル
をみることができます。



すいどうすい ・水道水もおいしい！

米子市の水道水は、大山や日野川のゆたかな自然に育まれた

地下水を水源としているため、ミネラルをふくんでいて、とてもおい

しいです。2024年2月には、「水道水が美味しいと感じる都道府県ランキング」(パ

ナソニック調べ)で、鳥取県が第1位になり、おいしい米子の水が話題になりました！



おまつり

よなごさくら ・米子桜まつり



みなとやまこうえん ほん さくら き はる
湊山公園にはおよそ450本の桜の木があります。春にな
ると屋台もたくさんでて、お花見の客でにぎわいます。

ひよしじんじゃ ・日吉神社よいとまかせ

よどえ ひよしじんじゃ ねんいじょうつづ でんとう
淀江にある日吉神社の、350年以上続く伝統あるおまつりです。「えんよいやな、
えんよいとまかせ、さささ、さーよいとまかせ」というかけ声をしながら歩くので、
「よいとまかせ」とよばれています。

ぜんにほん かいけたいかい ・全日本トライアスロン皆生大会

すいえい じてんしゃ
水泳（スイム）、自転車（バイク）、ランニング（ラン）
の3種目をするスポーツです。1981年（昭和56年）
に、皆生温泉で日本初のトライアスロンが開催されま
した。毎年7月に開催され、全国からたくさんの選手が
米子にやってきます。



かいけかいがん
皆生海岸スイムスタートのよう
す！がんばれ～！

よなご まつり ・米子がいな祭

よなご ほうげん いみ
「がいな」とは、米子の方言で「おおきい」「たくさん」という意味です。米
子の人たちが「自分たちで新しい形の創作祭をつくろう！」と、1974年
（昭和49年）に第1回米子がいな祭が始まりました。がいな太鼓や、がい
な音頭もこのお祭で誕生しました。



だいに ・がいな太鼓

だい かいよなご まつり ぜんこくゆうめいだいきょうえん
第1回米子がいな祭では、「全国有名太鼓競演」というイベントがあ

りました。これを見た米子の若者たちは、「米子がいな太鼓」を創ろうと

立ち上がりました。たくさん練習をして、第2回米子がいな祭で演奏し

ました。その後メンバーが足りなくなり、練習場所にもこまり、続けることが難し

くなりましたが、せっかくできた米子の新しい伝統を守ろうと、地域の人々に支え

られて、「米子がいな太鼓保存会」ができました。がいな太鼓の演奏は「米子流」と

よばれ、今ではがいな祭だけでなく、国内外の様々な場所でも披露され、すばらし

い音を世界に響かせています。

かものがわ ・加茂川まつり

よなごしないなが かものがわそ じそう
米子市内を流れる加茂川沿いには、たくさんのお地蔵さまがいます。この

お地蔵さまに子どもたちが元気ですごすことができるように、川の水がき

れいになるようにおいのりするおまつりです。1984年（昭和59年）8月からはじ

まりました。キーワードラリーやキャンドルナイトを楽しみます。

かいけ だいせん シー トゥー サミット ・皆生・大山SEA TO SUMMIT

かいけ うみ の じてんしゃ だいせん い だいせんとうざん だいせん
皆生の海でカヤックに乗り、自転車をこいで大山へ行き、大山登山をして大山の

頂上をめざすスポーツイベントです。スポーツをしながら、自然のゆたかさ、たい

せつさを学びます。日本で最初にSEA TO SUMMITがおこなわれた

のは、2009年9月の皆生・大山大会だそうです。今では全国

各地でおこなわれています。



トライアスロン、SEA TO SUMMIT、みんな
米子から誕生したんだね！すごいなあ！

参考文献

- ・『米子がいな祭 25 周年記念誌』（米子がいな祭振興会 1999. 4）
- ・『加茂川まつり 35 年のあゆみ』（加茂川まつり実行委員会 2019）
- ・『ウンパくんと歩く中海散歩』（中海市長会 2012）
- ・「よなごキッズページ」 <https://www.city.yonago.lg.jp/16772.htm>
- ・『ふるさと米子の先人に学ぶ郷土資料集（小学校 5 年生～中学校用）』（米子市教育委員会 2015）

よなごし 米子市のすごいところに行ってみよ～で！



よなごじょうあと ・米子城跡

よなごし ちゅうしんち みなとやま
米子市の中心地に、湊山という

たか 高さおよそ 90 メートルの山があ

ります。よなご ひと みなとやま
米子の人たちは、湊山の

ことを「城山」とよび、親しんでい

ます。この山には、かつて「米子城」

とよばれる城がたっていました。い

まは城はのこっていませんが、



よなごじょうあと
米子城跡

みなとやま ちょうじょう しろ いしがき ちょうじょう
湊山の頂上には城をささえていた「石垣」がまだのこっています。頂上からは

うつく だいせん なかうみ ねん しょうがつ エヌエイチケー
美しい大山や中海をながめることができます。2022年のお正月には、NHKの

ばんぐみ うつく けしき にほんさいきょう しろ よなごじょうあと ぜんこく ゆうめい
番組でその美しい景色から「日本最強の城」にえられ、米子城跡は全国でも有名

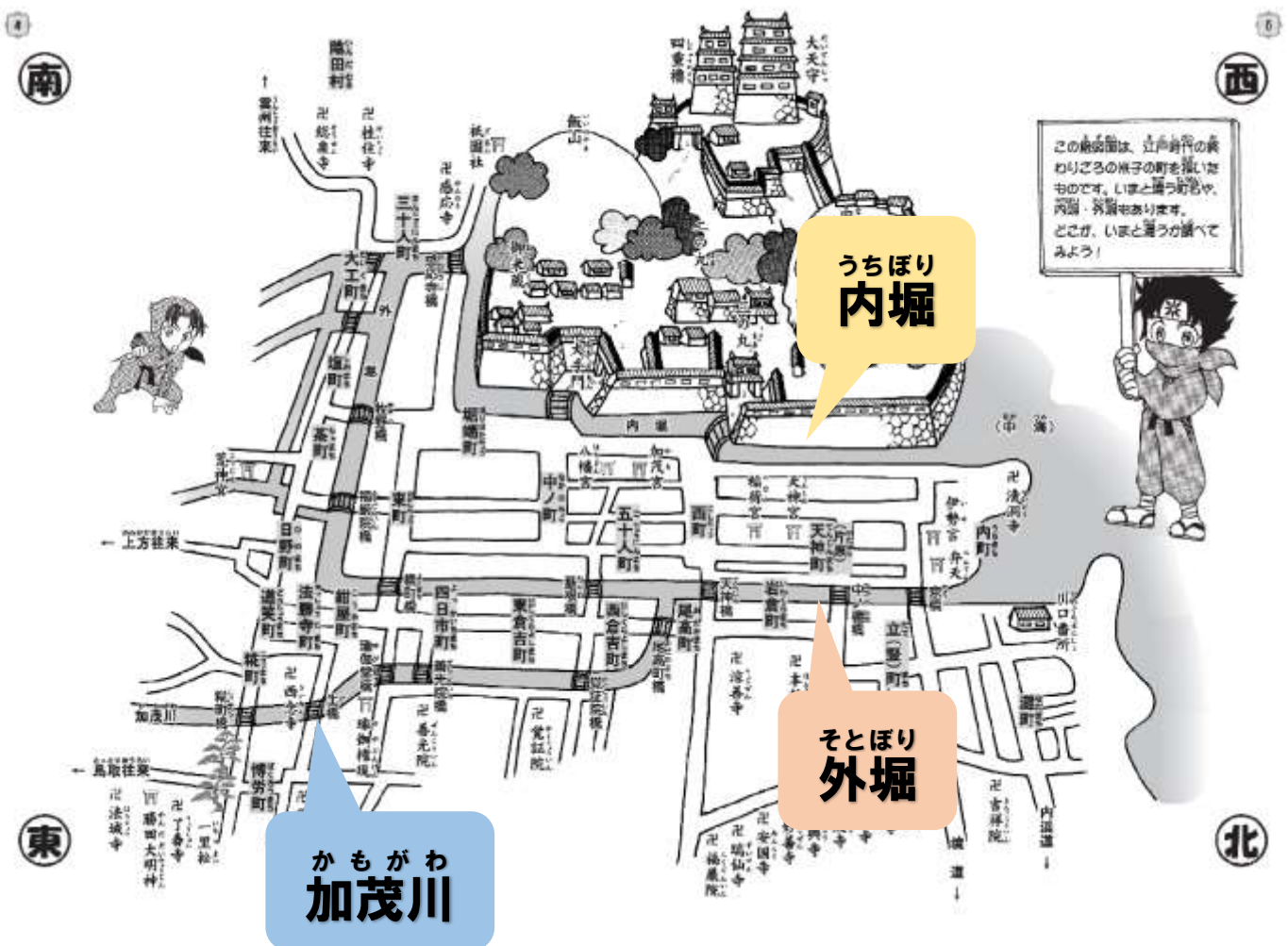
になりました。2006年（平成18年）には、本丸、二の丸などが国指定史跡となり、

ねん れいわ ねん さん まる いちぶ みなとやまきゅうじょうあと くにしていしせき ついか
2021年（令和3年）には三の丸の一部（湊山球場跡）も国指定史跡に追加されま

した。

かもがわ ・加茂川のまわり

よなごじょう しろ まも うちほり そとほり みず
 米子城のまわりには、かつて城を守るために、内堀と外堀がつくられ、水がながれ
 ていました。よなご しょうにん さか そとほり しょうてん
 米子のまちは商人のまちとして栄えていましたので、外堀は、商店の
 にもつをはこぶための水路としても利用されました。かもがわ すいろ りょう
 加茂川も、水路として利用され
 ました。いま よなごじょう ほり なだまち いわくらまち おだかまち ひがしくらよしまち
 今では米子城も堀もなくなりましたが、灘町、岩倉町、尾高町、東倉吉町
 などのあたりにはかもかわぞ くら いし かいだん まちなみ
 加茂川沿いに倉や石の階段がのこっていて、ふるい町並をみたり、
 ゆうらんせん の かもがわ はし
 遊覧船にのったりすることができます。また、加茂川のまわりにはたくさんの橋とお
 じぞうさま よなご かんこうめいしよ
 地蔵様があります。米子の観光名所のひとつです。



・『ふるさと米子探検隊第2号米子城入門の巻』(米子市立図書館/編刊 2005.2)より抜粋

むきぼんだいせき ・妻木晩田遺跡



よなごし だいせんちょう あいだ やよいじだい むら あと
米子市と大山町の間に、弥生時代の村の跡です。

とても おお むら あと ぜんこく ゆうめい いせき たてもの あと はか
とても大きな村の跡で、全国でも有名な遺跡です。建物の跡や、お墓

はっけん こうえん やよいじだい せいかつ たいけん
が発見されました。いまは公園になっていて、弥生時代の生活を体験

ふくげん たてもの てんじ み
したり、復元された建物や展示を見たりすることができます。

ふくいちこうこがくしりょうかん ・福市考古学資料館



よなごしな い ふくいちいせき あおきいせき やよいじだい こふんじだい むら
米子市内では、福市遺跡、青木遺跡など、弥生時代から古墳時代の村の

あと はっけん ふくしこうこがくしりょうかん いせき はっくつ
跡がたくさん発見されています。福市考古学資料館では、こうした遺跡から発掘され

どうぐ てんじ しりょうかん ふくいちいせきこうえん
た道具などがたくさん展示されています。資料館のとなりに福市遺跡公園があり、

たいけんかい ひら い
体験会やイベントも開かれるので、ぜひ行ってみてください。

かみよどはくほう おかてんじかん かみよどはいじあと ・上淀白鳳の丘展示館・上淀廃寺跡



ふくげん たい ぶつぞう
復元された3体の仏像

よどえ ねん ふる てら
淀江に683年に建てられたとされる、古いお寺の

あとです。つち なか ほとけ
土の中から仏さまのかかれたかべや、

ぶつぞう み
仏像のかけらがみつか

っていて、ぜんこく ゆうめい かみよどはくほう おか
っていて、全国で有名になりました。上淀白鳳の丘

てんじかん かみよどはいじ ぶつぞう たい ふくげん てんじ
展示館では、上淀廃寺の仏像3体を復元したものを展示

しています。また、あめのかみがきじんしゃ そうこ
また、ちかくの天神垣神社の倉庫には、

にほん たい きちょう いしうま ほぞん てんじかん む
日本に2体しかないという貴重な石馬が保存されています。展示館の向かいには

こだいほうき おかこうえん ほたてがいしきこふん むこうやまこふんぐん こふん
古代伯耆の丘公園があり、帆立貝式古墳、向山古墳群というたくさんの古墳をめぐ

ることができます。



ほたてがいしきこふん
帆立貝式古墳

よなごしりつさんいんれきしかん ・米子市立山陰歴史館

1930（昭和5年）、米子市役所として建築された3階建て

の建物です。1984（昭和59年）より山陰歴史館となりました。

米子城の資料や、なつかしの生活道具などを展示す

るほか、様々な山陰の歴史を伝える展示が行われています。



よなごしりつさんいんれきしかん
米子市立山陰歴史館

おだかじょうあと ・尾高城跡

米子市尾高にある戦国時代の城あとで

す。「泉山城」ともよばれています。

標高約40メートルの丘の上であり、

うつくしい大山をうしろに、米子の町

を見わたすことができます。米子城が

できるまでは、この尾高城がとても重要な場所でした。南北約400メートル、東西

約300メートルというとても広い場所に、人が住んでいた館のあとや、門のあとなど

が今ものこっています。戦国時代のお城は「土の城」とよばれ、石がきがないのが

特徴ですが、尾高城は最近の発掘調査でなんと石がきのあとが発見されました。

「土の城」から「石の城」へうつり変わる様子を見ることができる、大変貴重な発見

です。2023年（平成5年）に国の史跡に指定されました。

参考文献

- ・『米子のふるさと散歩』（米子錦ライオンズクラブ/発行 2012）
- ・『市民が選んだ米子の宝88』（よなごの宝88選実行委員会/発行 2010）
- ・「よなごキッズページ」<https://www.city.yonago.lg.jp/16772.htm>
- ・『海を臨む天空の城 国指定史跡米子城跡』（米子市教育委員会/発行 2016）
- ・『国指定史跡 尾高城跡』（米子市 2023）



おだかじょう
尾高城イメージ図

今回、参考にした本とインターネットサイト一覧です

- ・「よなごキッズページ」<https://www.city.yonago.lg.jp/16772.htm>
- ・米子市 <https://www.city.yonago.lg.jp/>
- ・『米子の民話散歩』（川上 廸彦 // 著 米子市 2002.08）
- ・『「米子」地名考（抜刷）』（岩佐 武彦 // 著 日本国際地図学会 1987）
- ・農林水産省「市町村の姿」<https://www.machimura.maff.go.jp/machi/contents/31/202/index.html>
- ・『鳥取県 白ねぎ沿革史』（鳥取県農業共同組合連合会 1997.09）
- ・『ウンパくんと歩く中海散歩』（中海市長会 2012.03）
- ・「ふるさと米子探検隊13号 米子の産業入門編の巻」（米子市立図書館/編刊 2009.03）
- ・『米子がいな祭 25周年記念誌』（米子がいな祭振興会 1999.04）
- ・『加茂川まつり 35年のあゆみ』（加茂川まつり実行委員会 2019）
- ・『米子のふるさと散歩』（米子錦ライオンズクラブ/発行 2012）
- ・『市民が選んだ米子の宝88 第3版』（よなごの宝88選実行委員会/発行 2012.03）
- ・『海を臨む天空の城 国指定史跡米子城跡』（米子市教育委員会 2016）
- ・「ふるさと米子探検隊19号 皆生温泉今とむかしの巻」（米子市立図書館/編刊 2017.3）
- ・「ふるさと米子探検隊2号 米子城入門の巻」（米子市立図書館/編刊 2005.2）
- ・白鳳の丘展示館／伯耆古代の丘公園 <https://www.yonagobunka.net/hakuhounooka/>
- ・米子市立山陰歴史館 <https://www.yonagobunka.net/rekishi/>
- ・『ふるさと米子の先人に学ぶ郷土資料集（小学校5年生～中学校用）』（米子市教育委員会 2015）
- ・『国指定史跡 尾高城跡』（米子市 2023）
- ・米子城写真と尾高城イメージ図 出典：米子市文化振興課

よなごキッズページ



白鳳の丘展示館／伯耆古代の丘公園



米子市立山陰歴史館



米子市福市考古資料館



米子市立図書館こどもページ



よなご
米子には、まだまだええ場所がよ
～け（たくさん）あ～で～！



米子市立図書館

よなごデータブック 2026

米子市立図書館／編刊

2026年4月 発行